

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	石川県	事業実施主体	石川県、小松市及び能美市	地域再生計画名	自然と文化が広がり、ひとをつなぐ魅力的な地域づくり計画
計画期間	令和3年度から令和7年度	評価責任者	小松市都市創造部長、小松市経済環境部長、能美市土木部長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	R1	年度	中間実績	基準年度	R7		指標総数	達成数		
	観光入り込み客数の増加		621万人	R1	803万人	R5	469万人	985万人	R7	×	2	1	新型コロナウイルス感染症による観光客の移動自粛や北陸新幹線小松駅開業が1年延期になるなどの影響により、中間目標値を334万人下回った結果となった。今後は、新型コロナウイルス感染症第5類への移行や新幹線開業効果により、最終目標達成まで就労努力する状況である。
	年間間伐材等木材供給量の増加		14,177㎡	R1	14,994㎡	R5	16,523㎡	16,000㎡	R7	○	2	1	既に最終目標値を達成している。
②事業の進捗状況		事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度（R5）	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）	6.64km	3.20km	6.64km	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、約48.1%と遅れが伺えるため、必要に応じ、計画期間の延長も視野に入れ、引き続き、計画に則した整備を目指している。								
	林道整備事業（整備延長、保全対策）	0.64km	0.44km	0.64km	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、約68.7%と若干の遅れが伺えるため、必要に応じ、計画期間の延長も視野に入れ、引き続き、計画に則した整備を目指していく。								
その他の事業	該当なし												
計画外で独自に実施した事業	こまつ五彩ブランド推進事業	北陸新幹線小松駅開業に向け「各種メディアを活用したPRや動画配信」や九谷焼を中心に地元食材や歌舞伎とのコラボによって「小松の魅力発信」（小松市単独事業）			北陸新幹線小松駅開業が令和6年3月と当初の計画より1年遅れはしたが、首都圏でのPR活動（「北陸新幹線小松駅開業記念歌舞伎のまちライトアップ！」などを実施している。								
	着地型観光の確立	ものづくり、歴史遺産、里山の自然、民間の観光施設など多種多様な資源を活かして体験を中心とした着地型観光プログラムを確立する。（能美市単独事業）			「現代美術展※県内最大級の公募美術展」や小松市・能美市が共同で九谷焼の世界発信を目指す「クタニズム」、「九谷茶碗まつり」など各種イベントと連携し誘客に繋げるとともに、今秋には、九谷陶芸村ビッグモニュメント、市九谷焼美術館体験館を全面改修し、絵付けの個別体験室を新設する。								
	観光プロモーションの推進	出向宣伝や旅行商談会、首都圏でのイベントへの参加、観光事業者や市内企業と連携した宣伝活動を実施するとともに、各種広告媒体を活用したプロモーション活動を展開し、観光地としてのブランド化を図る。（能美市単独事業）			地域活性化起業家の受入による旅行会社との連携強化、観光回遊の促進に向けた新たな事業の創出を図っている。また、今年度から企業版ふるさと納税（人材派遣型）の活用等による企画・立案や関係者間の調整を担うプロデューサー人材の誘致、航空会社や映画館の活用など多方面での観光プロモーション等の取組を強化する。								
	森林総合整備事業	森林機能の保全と市産材の安定供給を目的として、集団間伐及び広葉樹再生、林道基盤の安定を図る。（小松市単独事業）			森林機能の保全と市産材の安定供給を図るため、集団間伐及び広葉樹再生事業等を実施した林業事業体に対し支援を行った。								
	いしかわ森の担い手づくり推進事業	県産材の安定供給を目的として必要となる林業就業者を確保するため県外就業希望者の掘り起こしや長期就業体験、新規就業者向けの技術研修等を実施し、林業就業者の定着を図る。（県単独事業）			県産材の安定供給を目的として必要となる林業就業者を確保するため、高校生向けの出前講座を開催し、林業を就職先の選択肢の1つとしてもらう機会を提供した。								
	スマート林業実践対策事業	県産材の安定供給を目的として（株）コマツと連携し、ICTを活用した「スマート林業」の推進により、林業の低コスト化、省力化を実現し、林業～木材生産の振興を図る。			県産材の安定供給を目的として、スマート林業による低コスト化、省力化を図るため、ドローン操縦技能者の養成研修を実施した。								
③評価方法	地域再生評価会議を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。												
④中間評価の公表方法	小松市農山村創生課、能美市土木課のホームページに掲載												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道整備と林道整備を一体的に行うことにより、拠点間のアクセス性の向上や物流の円滑化による産業・林業の活性化を図るとともに、来訪者や地域住民の安全な通行が可能となるよう狭隘区間の解消に取り組み、道路網の再編を図る。また、これらの道路の整備事業に併せ、関連事業を実施することにより、本地域における「自然と文化が広がり、人をつなぐ魅力的な地域づくり」の実現することを目的としている。なお、指標1の人口増については、現時点で目標達成の見込みが厳しい状況にあるが、少しでも観光入込客数が増加するよう、引き続き地域再生計画の事業展開を図っていくものである。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況											有りの場合その具体的内容	
	地域再生計画の見直し（有・無）												
	令和6年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円												
⑦今後の方針等に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> ●事業期間延長の予定はなし ●事業費の見直しの予定はなし ●路線間の事業費の移動（軽微な変更）予定 												